

## 技術フェアの開催

電気利用技術研究棟の完工を  
記念して

電気利用技術研究棟の完工を記念した技術フェアが、11月30日と12月1日の2日間、研究所構内で開催された。研究所の設備を公開して、日頃の成果が実演や展示物・パネル等により説明された。恒例の全社技術研究発表会も同時に実施され、8部門で64件の発表があった。また本年度から研究開発に功績のあった者に対して、新たに制定された「技術研究開発賞」の表彰が併わせて行われた。

### Technology Fair

In Celebration of the Completion of the  
Electricity Utilization Technology  
Laboratory

A Technology Fair was held on Nov. 30th and Dec. 1st, at the Research and Development Center, to celebrate the completion of the Electricity Utilization Technology Laboratory Building. The laboratory facilities were open to the public and research achievements were exhibited by demonstration, equipment displays, models, and explanation panels. The annual company-wide research presentation meeting was also held on this occasion. Sixty-four reports were presented in eight fields of research. The newly established Engineering Research Prize was awarded to researchers whose achievements were remarkable.

#### 1 | 技術フェアを開催

技術フェア当日は、2日間とも晴天に恵まれ、社内外の特別招待者および一般見学者を合わせて約2,900人の見学者が訪れ、盛大に行われた。

会場はロボットを使用したデモンストレーションなど51箇所の展示コーナーを設け、研究員による熱心な説明が行われた。また、見学者の会場内の移動は電気自動車によって行われ好評を得た。

#### 2 | 社長の督励と記念植樹

12月1日には技術開発本部に松永社長をお迎えして督励を受けた後、電気利用技術研究棟完工の記念植樹が行われた。

〔社長のことば〕

我が国経済は、昭和62年12月以降、36カ月間拡大基調を維持しており、本年上期の電力需要も6.2%と堅調に伸びておりますが、収支については料金改定と為替レートの円安基調等により、増収減益になります。

このような状況から、来年度予算については、電源および基幹流通設備等必要な工事は計画どおり進めますが、経費についてはさらに節減可能な部分が多々あるのではないかと考えておりますので、社員一人ひとりが知恵を出し、一層のコストダウンに徹していただきたいと考えています。

また、外に目を向けると、先般オラン

ダで世界環境担当相会議が開かれ、地球温暖化防止のための二酸化炭素排出量の現状レベル維持の問題が論じられていますが、これは、電気事業にとっては重要な問題であり、社内外を問わず厳しい経営環境に立たされております。

これらの難問を解決し、当社が生き残って行く道は、新しい観点に立った技術開発にかかっていると言っても過言でないと考えています。

当社は、昨年7月技術開発本部制をしき、電気利用技術研究所を設けて1年半たちましたが、成果も出つつあると伺っており大変喜ばしいことであります。

このたび、電気利用技術研究所の研究設備を中心に電力技術研究所を含めた最新鋭の研究棟が完成したことにより、両研究所の両輪がうまくかみあって走り始めるものと期待しています。

「仏作って魂を入れず」ということわざがありますが、今回、建物・設備はできたわけですから今後皆さん一人ひとりの熱意によってこれを活かしていったほしいと思います。

私は、前から自主技術による研究が大切であると言っていますが、これも一朝一夕にできるわけではありません。常に皆さんが自己の技術をみがき、現在あるいは将来に向かって何が問題となるか、お客様が何を求めているかを見極め、夢と情熱を持って研究にチャレンジすることが最も重要なことではないかと考えます。

管理職の方には研究員が研究に熱中でき、オリジナリティを引出せる環境作りりに気を配っていただくようお願いいたします。

いずれにしても、研究というものはずいぶん成果が出るといったものは少ないので、目標に向かって一步一步、着実に成果を積み上げ、じっくり腰を落着けて取り組んでいただきたいと思います。

また、研究を通して地域に貢献できる開かれた研究所にしたいと思っておりますが、今回の技術フェアは地域の皆様あるいは関係者の方々に当社の研究所を理解していただく良い機会であり開かれた研究所の第一歩になることを願っております。



督励を行なう松永社長





技術フェア入口と完工した電気利用技術研究棟



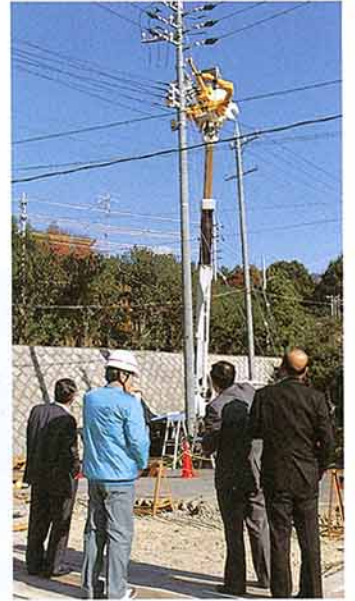
技術フェア案内図



記念植樹を行う松永社長



実演を見学される松永社長



ロボットによる実演



会場内を走る電気自動車



パネルで説明を受ける見学者



### 3 全社技術研究発表会

第42回の全社技術研究発表会が、技術フェアに合わせて11月30日に技術開発本部と名古屋市宿泊施設青年の家で行われた。

各部門での発表に先立ち、それぞれの専門分野における大学の先生による講演の後、各部門から選ばれた64件の研究成果が発表された。この結果、優秀発表17件に対し高橋技術開発本部長から表彰が

行われた。

このほか、建築家の黒川紀章氏を招き「21世紀におけるアメニティライフ」と題する特別講演も行われた。

### 4 技術研究開発賞

高度な技術開発により、経営に寄与したものの、または社会的イメージを著しく高めたもの、および学術的に高く評価されたものに対して、平成元年度から新た

に社長名による「技術研究開発賞」が制定された。

今回は、第一回として社長賞2件、奨励賞3件が選出された。表彰式は、全社技術研究発表優秀賞の表彰に先立ち行われ、長澤副社長から社長賞2件、高橋技術開発本部長から奨励賞3件に対して表彰状と副賞が授与された。

(技術開発本部 研究企画部)

#### 全社技術研究発表優秀賞

営業開発	集材仕上工程における電気加熱・加湿装置の開発 「ファミリーレストラン」の環境調査結果	高山営業所 地域サービスG 静岡支店 営業配電部	大溝 輝彦 大工 武男
配電	無停電工法の開発-低コスト化、工事効率化をはかる新バイパス工法- 配電線路高所作業マニピュレータの開発	北営業所 配電運営課 電力技術研究所 配電研究室	梶浦 守 村井 友廣
系統	技術計算管理システムの開発 大容量変圧器加圧時の突入電流抑制方法に関する研究	津系統運用センター 給電課 電力技術研究所 電力研究室	直江 良樹 古川 初吉
工務	市内超高圧導入における現地試験(変電) 圧縮引留クランプ・直線スリーブの温度測定と管理の精度向上。 グラフ理論を利用した水力発電所の指令操作票作成支援システムの開発	中央送変電建設所 変電工事課 名古屋支店 工務部送電課 平岡電力所 発電電課	小島 正道 小森 重男 塩沢 孝則
情報制御	変電所停電操作支援エキスパートシステム 支店内広域伝送ネットワーク(LAN方式)の開発	電力技術研究所 情報制御研究室 制御通信部 通信技術課	鈴木 常彦 高田平二郎
土木建築	川辺ダムグループ流入予測方法 中部電力岡崎ビルの運転実績(10年間)の調査分析	加茂電力所 川辺ダム管理所 土木建築部 建築第一課	川瀬 英昭 岩田 美成
火力	タービン翼検査ロボットの開発 低圧電動機の絶縁劣化診断法の開発	電力技術研究所 機械研究室 川越火力発電所 保修課	太田 修 桑原 時紀
原子力	原子力発電所における運転面での諸改善と効果(その2) 計器用保守管理システムの開発研究	浜岡原子力発電所 発電第一課 電力技術研究所 原子力研究室	村松 正浩 斎藤 道雄



全社技術研究発表会の表彰風景

#### 技術研究開発賞

##### ●社長賞

生体情報の計測技術の開発とその応用に関する研究	電気利用技術研究所第一研究室	岩尾 憲三
水力発電所減勢室型減勢工の開発	大井川上流水力建設所 工事課 静岡支店 工務部 土木課	内田 英雄 松本 敏和

##### ●奨励賞

イチゴの水耕式夜冷育苗の研究開発	岡崎営業所 地域サービスG	梅田 友昭
耐雷PCの開発	羽島営業所 配電課	近藤 泰吉
送電用避雷装置の開発	中央送変電建設所 調査課 " 送電工事課 四日市電力所 送電施設課 工務部 工務技術課	吉田 篤哉 松山 彰 岡部 一彦 岩月 実



特別講演を行う黒川紀章氏

#### 技術研究開発社長賞を受賞した三氏



岩尾 憲三氏

内田 英雄氏

松本 敏和氏